



2022年1月28日
東日本旅客鉄道株式会社

共生社会の実現に向けた新たな取り組み

～乗務員による車いすをご利用のお客さまの乗降のお手伝いを試行します～

○JR東日本では、すべてのお客さまに安心して快適にご利用いただける鉄道を目指すと共に、共生社会の実現に向けた取り組みを進めています。

○このたび一部路線の対象駅において、乗務員（運転士または車掌）による車いすをご利用のお客さまの乗降のお手伝いを試行します。

1. 試行の概要

現在、車いすをご利用のお客さまが乗降のお手伝いを希望される場合、事前連絡をいただかなくても必要な対応を行っておりますが、無人駅などをご利用の際には、お手伝いさせていただく駅係員などの手配から到着までの間、お時間をいただく場合がございます。

このたび、駅係員が終日または一部時間帯に不在となる対象駅において、乗務員（運転士または車掌）が携帯スロープを用いて列車の乗降のお手伝いを試行的に実施します。

試行によってお手伝いに必要な時間や手順などを確認し、さらなる安心・快適な鉄道と共生社会の実現に向けて改善を続けてまいります。



2. 試行対象駅

左沢駅（左沢線）

女川駅（石巻線）

東名駅・野蒜駅（仙石線※1）

郡山富田駅・磐梯熱海駅（磐越西線※2）

北中込駅・臼田駅・八千穂駅・馬流駅・松原湖駅・佐久海ノ口駅・甲斐小泉駅（小海線）

※1 各駅停車で試行検証します。

※2 駅係員が不在となる時間帯に発着する「快速あいつ」で試行検証します。

3. 試行期間

2022年3月12日(土)～当面の間

※開始日については変更になる場合があります。

【参考】当社における共生社会の実現に向けた取組み例(一部)



車内(フリースペース付近の床面)の案内表示



車両とホームのすき間縮小のためのくし状部材



ホーム上(床面とホームドア)の案内表示



バリアフリートイレの整備



「サービス介助士」資格取得の推進



「声かけ・サポート」運動強化キャンペーン

お身体の不自体なお客さまのご案内の詳細については当社ホームページ(<https://www.jreast.co.jp/equipment/>)をご覧ください。